



県ホームページ(置賜総合支庁: http://www.pref.yamagata.jp/regional/okitama_bo)でもご覧頂けます。

平成25年11月1日発行 発行元 / 山形県置賜総合支庁 No.130

「やませ蔵美術館」江戸時代から続く袖問屋。最上川舟運の繁栄を偲ばせる蔵が建ち並びます。庭園では四季折々の美しさを堪能することができ、特に紅葉の時期は圧巻。
 ■長井市あら町6-61 ■開館日:金土日 ■時間:10時~17時 (観光振興室)

特集 置賜の秋の味覚が大集合！ 「食の桃源郷おきたま 秋の大収穫祭」を開催しました。

置賜地域は、全国有数のブランド牛の産地であるとともに、全国有数の米どころでもあり、これらを始めとして置賜の秋は食材の宝庫となります。この置賜の魅力を広く内外にアピールするため、置賜総合支庁では、管内3市5町及びJAと一体となって、10月12日(土)に、米沢市松川河川敷を会場に、「食の桃源郷おきたま 秋の大収穫祭」を開催しました。

「秋の大収穫祭」は、最上級の米沢牛を味わう「米沢牛コーナー」、置賜3市5町の特産品が勢揃いする「直売・飲食コーナー」、地元の人気者が集結する「ステージイベント」からなり、「米沢牛コーナー」では、県内外から約600人が、置賜生まれ置賜育ちのA5ランクの米沢牛すき焼きや焼肉、売り出し中のぶどう「シャインマスカット」を堪能しました。



「直売・飲食コーナー」では、3市5町から29のお店が出店し、旬の特産品の販売や、置賜産新米つや姫の振る舞いなども行われ、あいにくの雨天にもかかわらず多くの来場者で賑わいました。

「ステージイベント」では、「Ai-Girls」、「アズマンジャー」、「愛の武将隊」、「かねたん」等置賜の人気者が集結したほか、3市5町の特産品が当たる、置賜8市町長による「お国自慢クイズ大会」を開催し、盛り上がりしました。



「農業を元気に、農業から地域を元気に」、置賜総合支庁では、今後ともこうした取組みを推進し、農業による地域活性化を図っていきます。

☎農業振興課 0238-26-6051

お知らせ 再生可能エネルギーの固定価格買取制度について

☎環境課 0238-26-6102

お得なプレミアム期間に設置しませんか？ 再生可能エネルギーの固定価格買取制度は来年度(平成26年度)まで！

固定価格買取制度とは、家庭や事業所等が太陽光などの再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定の期間、同じ料金で買い取る制度で、昨年(平成24年)7月からスタートしました。

買取単価と買取期間は、再生可能エネルギーの種別(太陽光や風力など)ごとに、毎年、国が定めていますが、制度開始から3年間は、供給者の利潤を特に配慮した売電価格を設定しています。この3年間は、買取価格を高く設定するため「プレミアム期間」と言われており、来年度(平成26年度)で終了します。

太陽光発電による売電価格等

区分	売電価格			売電期間	売電方法
	24年度	25年度	26年度		
10kw未満	42円	38円	未定	10年	余剰買取
10kw以上		37.8円	未定		



太陽光発電設備の設置をご検討している方、売電ビジネスをお考えの事業主のみなさん、「プレミアム期間」での設置をお勧めします。

詳しくは、環境課 環境企画担当(電話 0238-26-6102)までお問い合わせください。

失敗してもいい、挑戦できる社会へ



この人に聞く

白石 祥和

特定非営利活動法人With優 代表

NPO法人With優は、地域に住む子ども達、大人が自分らしさを大切に生き生きと幸せに生きること、地域に笑顔が広がること、優しい地域社会づくりに寄与することを目的にこれまで活動してきました。フリースクールやカフェレストランを中心に、直接的に子ども達や若者を支援する他に、地域の多くの方に今の子どもや若者の現状を理解してもらい、寄り添ってもらえるような仕組み作りに取り組んでいます。

平成22年度からは、国からの委託を受けて、置賜地域でこれから就労を目指す若者の総合窓口である置賜若者サポートステーションも運営しています。これまでに約400名の若者が登録、利用しています。その若者との関わり、出逢いの中から今年、新しく始めた取り組みとして居酒屋プロジェクトがあります。就労を目指す若者が中間的に働き、それを地域の人が利用することで支える会員制居酒屋の立ち上げと運営です。

これから一般就労を目指す若者の中には、長期にわたり無業状態が続き、出口がなかなか見えないもの、発

達的な課題や精神的な課題を抱えているものもおります。地域の受け皿としては即戦力を求める現状があり、そのような若者が地域の中で定着して自立を目指すのは困難な時代なのかもしれません。

「失敗を許さない社会だからこそ、失敗できる場所があっても良い」— 地域のどんな人も、生き生きと幸せに生き抜けるような地域社会を作るべく、ここ置賜地域で挑戦し続けたいと考えています。



若者らが就労体験として接客や調理に取り組んでいます
(会員制居酒屋「結」)

トピックス

☎福祉課 0238-26-6027

「障がい者の森林活動フィールド拡大事業」を実施しました



置賜総合支庁では、やまがた緑環境税充当事業として、平成24年度から「障がい者の森林活動フィールド拡大事業」を展開しています。障がいのある

方々も身近なところで森林に親しむことができる環境づくりを目指すもので、置賜総合支庁独自の取り組みです。

10月22日(火)、南陽市赤湯の十分一山において、障がいのある方々による散策コースの確認を行いました。参加していただいたのは、身体(視覚)・知的・精神障がいのある方々12名。地元の森林ボランティアによる案内のもと、色づき始めた木の葉や道端の木の実等を手に取っては、思い思いに秋を満喫されていました。

散策の後、途中で採集した松の実や木の枝等を使って、今回の思い出の写真を飾るためのフォトフレームを作成しました。参加者それぞれの発想豊かなデザインに、森林ボランティアの方々も新鮮な驚きを感じていました。



結婚・子育てポジティブキャンペーン 乳幼児と生徒とのふれあい体験事業

高校生が、乳幼児とのかかわりを通して、優しい気持ちや乳幼児への愛着を育み、命の大切さや子どもを産み育てることの素晴らしさを感じとることを目的とした「乳幼児と生徒とのふれあい体験事業」が、10月17日(木)と25日(金)に、高島高等学校で行われました。

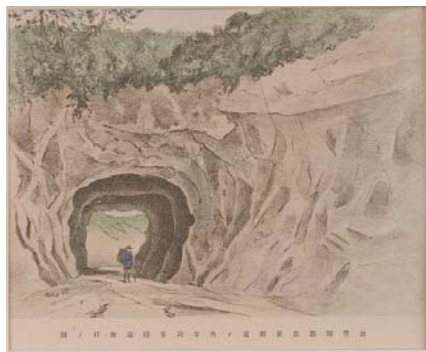
体験事業では、1年生と2・3年生の「発達と保育」選択の生徒が、町内から訪れた親子と一緒に遊んだり、話をしながら楽しく交流しました。



生徒たちは、初めは緊張しながら乳幼児と接していましたが、用意された絵本やおもちゃなどで乳幼児と楽しく遊びながら、母親たちからも、子育ての楽しさや大変さなどの話を聞き、子育ての素晴らしさを体験していました。

県では、今後も、若い世代を対象にして、結婚や子育て、家庭を持つことを前向きに捉える意識の啓発を行う「結婚・子育てポジティブキャンペーン」を展開していきます。

県では、今後も、若い世代を対象にして、結婚や子育て、家庭を持つことを前向きに捉える意識の啓発を行う「結婚・子育てポジティブキャンペーン」を展開していきます。



万世新道ノ内字苧安隧道西口ノ図

左の石板画は、苧安地内に掘られた苧安隧道を描写したものです。

苧安隧道は、栗子隧道の工事を始めるにあたって、山麓の小山をトンネルで通したもので、栗子隧道と同じ明治9年12月18日

に着手し、翌10年2月11日に竣工しました。

延長36間(65m)で、岩質は軟弱であり、掘削が容易でした。昭和8年からの改良工事で、苧安隧道は掘り割りとなり、更に昭和36年から着手した栗子ハイウェイ建設の際、拡幅されて、現在は、左右に落石防止柵が設置されるとともに、コンクリート格子張と植生で法面保護がなされ、昔の面影は殆ど無くなっています。



「万世大路道路元標」竣工除幕式が行われました

明治時代に開通した福島米沢間の幹線道路、「万世大路」の道路元標除幕式が、「開通記念日」の10月3日に行われました。



万世大路は国道13号の旧道で、初代山形県令の三島通庸によって建設され、明治14年10月3日の明治天皇ご巡幸に合わせて開通しました。建設当時の測量・土木技術の水準の高さと福島－米沢間の物流と文化交流、産業振興の変遷を知る重要な土木遺産として、昨年10月に土木学会の選奨土木遺産に選定されました。

道路元標とは主要道路の両端を示すものですが、福島側には設置されていたものの米沢側には無かったため、選奨土木遺産への選定を契機に県が整備したものです。道路元標は、高さ約1.2m、50cm四方の白御影石で、「相生橋」西側交差点の南西側歩道にありますので、ぜひご覧ください。

事業報告 「就職面談会IN米沢」が開催されました

10月17日(木)に米沢市のグランドホクヨウで、東南置賜地域(米沢市、南陽市、高畠町、川西町)への就職を希望する方を対象とした「就職面談会IN米沢」が開催されました。(米沢市雇用創出協議会が主催、置賜総合支庁が構成員となる南陽・高畠・川西地域雇用創造推進協議会等の共催)

面談会には、ハローワーク米沢に求人を出している企業59社が参加し、約200人の仕事を探している方が各企業のブースを訪れて、面談に臨みました。

置賜地域の有効求人倍率は、今年8月時点で0.87倍と昨年と同じ時期を上回り、緩やかに回復していますが、県内の他の地域よりも低い水準となっており、本面談会による地域雇用の促進が期待されるようです。



保健だより

お酒、飲みすぎではありませんか？

適正な1日の飲酒量は、ビール1缶(500ml)です

お酒は、私たちの生活においてストレス解消など良い点もあります。しかし、飲みすぎると肝臓の病気やアルコール依存症などの病気を引き起こします。

日本人に適正な1日の飲酒量は、純アルコールで約20g

- ビール(5%)だと、中びん(500ml)1本。
- 焼酎(25%)だと、コップ半分(100ml)1杯。

お酒と上手につき合うためのポイント

- 1 楽しく、つまみを食べながら飲む
- 2 強い酒は薄めて飲む
- 3 夜12時以降は飲まない
- 4 週に2日は休肝日を作る

飲みすぎではありませんか？ *アルコール依存症チェック*

- 飲酒を減らさなければいけないと思ったことがある
- 飲酒を批判されて、腹が立ったりいら立ったことがある
- 飲酒に後ろめたい気持ちや罪悪感を持ったことがある
- 朝酒や迎え酒を飲んだことがある

→2項目以上該当するとアルコール依存症の可能性あり。



アルコール依存症は家族、仕事よりも飲酒を優先させる病気です。酔いを求めるための飲酒や、飲むための理由を探しているなら、ご相談ください。

●ご相談、お問い合わせは・・・地域保健予防課 精神保健福祉担当 0238-22-3015

お知らせ

県議会の活動を身近で傍聴してみませんか

地域の課題や施策等について、置賜管内選出県議会議員が審議を行う平成25年度第2回置賜地域議員協議会が下記により開催されます。

県議会の活動を身近で傍聴できる良い機会ですので、傍聴を希望される方は、当日会場までお越しください。

- 開催日時：平成25年11月19日(火)午後1時から
- 場所：置賜総合支庁本庁舎講堂
(米沢市金池7-1-50)
- ◎地域振興課 企画調整担当 0238-26-6020

借金や家計に関する無料相談会の開催について

「多重債務者相談強化キャンペーン2013」に伴い、借金や家計に関する無料相談会を開催いたします。弁護士、または司法書士がアドバイスをします。

- 日時：平成25年11月23日(土)10時から12時まで
- 場所：置賜総合支庁本庁舎
- その他・相談時間は1人30分程度です。
・事前予約が必要です。
- 事前予約・お問い合わせは・・・
置賜消費生活センター 0238-24-0999

置賜子ども芸術祭2013 ～舞台芸術部門～

置賜各地で伝統芸能などの文化活動に取り組んでいる子どもたちが一堂に会し、日ごろの練習の成果を披露します。舞台上での、子どもたちの一生懸命な姿をぜひご覧ください。

- 日時：平成25年11月30日(土)
開場13:00 開演13:30
- 場所：飯豊町市民総合センター「あ～す」
- 出演団体
 - ・伝国の杜子ども狂言クラブ(狂言・小舞)
 - ・長井市立長井小学校獅子舞クラブ(黒獅子舞)
 - ・南陽市少年少女合唱団コールエンジェル(合唱)
 - ・高島町立屋代小学校ひろすけ合唱団(合唱)
 - ・小国町立沖庭小学校(沖小歌舞伎)
 - ・八乙女の舞(巫女舞)
 - ・飯豊町少年少女合唱団ミルクィウェイ(合唱)
- 入場料：無料
- 主催：置賜文化フォーラム



◎地域振興課 地域振興担当 0238-26-6018

11月14日は世界糖尿病デーです —自分の血糖値を意識しよう！—

糖尿病は、膵臓から分泌されるインスリンというホルモンの不足や働きが悪くなることで、血液の中に血糖が増加した状態が続く病気です。

肥満やメタボの方は、脂肪細胞から出る悪玉物質によってインスリンの働きが悪くなります。それでも血糖値を下げるためにインスリンを分泌しようとがんばる膵臓の細胞はやがて疲れ果て、インスリンを分泌できなくなってしまう。これが近年増加している2型糖尿病です。

この病気を放置して深刻な合併症(失明や腎不全、足が腐る、脳卒中、心筋梗塞など)を引き起さないように、毎年の健診で自分の血糖値を知り、症状が出る前に発見して継続した治療や生活改善(食事・運動・禁煙など)に取り組むことが大切です。

世界糖尿病デーinよねざわ2013 糖尿病 市民公開講座「正しい知識で予防と治療」

日時：平成25年11月17日(日)午後1時～
場所：米沢市 伝国の杜 大会議室
内容：東北労災病院副院長 赤井裕輝先生 他による講演
主催：山形県医師会、山形県糖尿病対策推進会議



糖尿病と仲良く付き合う方法がわかります！

◎保健企画課 健康企画担当 0238-22-3004

退院支援研修会の開催について

～精神障がい者への支援を考える(統合失調症を中心に)～

統合失調症の患者さんが地域で充実した生活を送るためには、家族や関係者の疾患への理解や退院後の支援が必要不可欠です。

退院支援に携わっている医療関係者等の話を通して、統合失調症患者への理解を深め、適切な支援について学び、支援活動の技術向上を図ることを目的として研修会を開催します。

- 日時：平成25年11月12日(火)14:00～16:00
 - 場所：置賜総合支庁本庁舎講堂(米沢市金池7-1-50)
 - 内容
 - ①講話 「統合失調症患者の退院支援(仮)」14:05～15:05
講師 米沢市立病院神経精神科 医長 秋葉大輔氏
 - ②シンポジウム 15:15～16:00
「精神障がい者への支援を考える(統合失調症を中心に)」シンポジスト
 - ・南陽訪問看護ステーション 所長 菊地誠氏
 - ・相談支援事業所あずさ 相談支援専門員 鏡広英氏
 - ・ニチケアセンター米沢 サービス提供責任者 齊藤護氏
 - 対象者
統合失調症を抱える方及び家族、保健・医療・福祉など関係者 約100名
 - 申し込み
11月5日(火)まで、下記連絡先へ電話で申し込みください。
- ◎地域保健予防課 精神保健福祉担当 0238-22-3015

発行元

置賜総合支庁 総務企画部 総務課 総務係
TEL 0238(26)6100
FAX 0238(24)1402
ご意見・ご感想をお待ちしております。

あとがき

「収穫」や「文化」など、秋には様々な言葉が冠されます。どんな秋をお過ごしですか？周りの山々の頂きが白くなると、冬支度の進み具合も気になります。何かと忙しく、日毎に寒気の加わる頃、健康には十分注意し、長い冬に備えましょう。